

## Shake Hands 第133号 2023年3月31日発行

常滑国際交流協会 〒479-0837 常滑市新開町 5-58 常滑商工会議所内

電話・FAX：0569-34-4797 メール：[tia@japan-net.ne.jp](mailto:tia@japan-net.ne.jp)

URL：<https://www.japan-net.ne.jp/~tia/>



### 2023年度 第1期 英会話講習のお知らせ

常滑国際交流協会では、私達に一番身近な外国語である英語を使って国際交流を行うことを目的として「英会話講習」を実施しています。下記により2023年度 第1期の受講者を募集します。

#### 記

日程：毎回水曜日、(全10回)

2023年 4月26日、5月10日、5月17日、5月24日、5月31日、  
6月7日、6月14日、6月21日、6月28日、7月5日

時間：午前10時～12時

場所：常滑商工会議所 東館2階 会議室

講師：(H. E. ART 英会話) Jason Ford 氏 他

募集人員：20名(定員になり次第締め切ります。)

参加費：15,000円

テキスト：今回から新たに受講の方はテキスト代が別に必要です。

※英会話講習に参加の方は常滑国際交流協会の会員になります。

詳細は下記までお問い合わせ下さい。

お申込み・問合せ：〒479-0837 常滑市新開町 5-58 常滑商工会議所内 **常滑国際交流協会**  
(事務局の開設は火・水・木曜日の午後1時～4時です。)

電話・FAX：0569-34-4797 メールアドレス：[tia@japan-net.ne.jp](mailto:tia@japan-net.ne.jp)

メールでのお申し込みは上記アドレスへ氏名・住所・電話番号・メールアドレスをご連絡下さい。

## カタカナ語について

カタカナ語とは、欧米語がカタカナで表記された「和製外国語」のことです。カタカナ語は英語などを基にして使われるようになった英語などではない言葉であるのに、あたかも英語などのように考えられて日本人によって創造された言葉です。こうしたカタカナ語の中で圧倒的に多いのは勿論「和製英語」です。

日本にきた英米人は町中におびただしい英語が氾濫していることにビックリします。それにもかかわらず英語が通じないことにまたビックリします。日本人の英語がなかなか上達しないのは、翻訳文化が発展しているからだとか、学校の英語教育だとかいろいろな理由が挙げられるけれども、私たちのまわりにあふれている和製英語にも原因があると思われます。英語を本来の正しい意味で使わず、英語らしい綴りや発音の単語を勝手に作り、それをカタカナであたかも英語のように日本語に混ぜて用いています。調べてみたら、日本にはこうしたカタカナ語だけを掲載した「カタカナ語辞典」が十数種類も出版されています。

たとえばアルファベットで表記しても英語などの外国語としては通じないこうした言葉のほんの一部を例として挙げてみると「ナイター、ビジネスホテル、カーフェリー、オートバイ、ガソリンスタンド、アメリカンコーヒー、モーニングサービス、ロマンスグレー、ルームクーラー、エアコン、セロテープ、マジックインキ、ホッチキス、バイキング、コック、シュークリーム、ウオークラリー、テーブルスピーチ、ホームイン、ゴールイン、サイドビジネス、バイク、ホームヘルパー、ショートステイ、デイサービス、マイホーム、マンション、テイクアウト、パソコン、ダイエット、カリスマ、リベンジ、スマート、トイレ、オーラ、プレゼン、コラボ、・・・」など、キリがありません。

「どうしたら英語ができるようになるか」ということは英語を学んでいる日本人の誰もが思っていることでしょう。まずカタカナ語はカタカナ語辞典が必要なほど多く、日常的に慣れて使っていても元の英語～外国語とは意味も発音も変化していて、英語のつもりで使っても通じません。もともと日本語は外来語の集まりです。日本に最初に外国からやってきた外来語は中国語～漢字で、日本で漢字からひらがなとカタカナを創りました。その後、近世には西欧語のポルトガル語、スペイン語、オランダ語が来て、明治にはフランス語やドイツ語から福澤諭吉の脱亜入欧で英語が怒涛のように入って来て、現在に至っています。カタカナ語は日本語として英語としての本来の意味とは異なる意味で使われている。英語でも同じ意味だろうとして使うと正しく通じなくなってしまう。これがカタカナ語の大きな弊害です。カタカナ表記の外来語はすべて英語ではなく日本語だと理解しましょう。日本では日本語だけでなく、和製英語を勝手に作るから訳が分からなくなってしまう。またカタカナ語では元の英語の意味を変えてしまったり、省略したりしてしまい英語としては全く通じないものになったりしたものもあります。英語をカタカナ表記にすることは、もしそれが元の発音に近いのなら通じるかも知れません。日本人が英語を学ぶ時に、こうした英語のようで英語でないカタカナ英語から脱却することが必要でしょう。日本語の中で日常的によく使われるカタカナ英語をよく見て、元の意味や本来の英語としての使われ方を調べてみると、いろいろな発見があり、英語の力が向上するかも知れません。（拘泥子）

## セントレアは大丈夫か？

2019年まで増加を続けて来たセントレアの航空機の便数が2020年からの3年間コロナ禍の影響で極端に減少しました。コロナ禍が終息に向かい2019年の状況へ回復して行くかと期待していたら、先日セントレアにとって唯一の北米向けのデトロイト便の休止が伝えられました。ヨーロッパ便は休止したままで、中国便もほとんど休止しています。空港の地元に住んでいても、ふだん空港を利用する機会がないと空港がどんな状況になっているか知らずに過ごしていますが、このように航空便の回復はまだ進んでいないようです。一方、セントレアの第2滑走路について時々報道されることがありますが、これもセントレアがどんな状況かあまり知られていません。国内の主要空港の滑走路の整備状況を見ますと、2019年度の旅客数1千万人以上の8空港のうち、羽田、成田、関西、新千歳、那覇、伊丹の6空港は既に複数の滑走路を備え、福岡空港は現在2本目の滑走路の整備を進めており、複数の滑走路を備える見通しかのない空港は中部国際空港のみという状況となっています。セントレアの第2滑走路の建設が進み、より利便性の高い空港となって欲しいものです。

順位	空港名	滑走路 (長さ×幅:m)	2019年度実績		備考
			旅客数(人)	着陸回数	
1	東京国際空港(羽田)	A:3,000×60 B:2,500×60 C:3,360×60 D:2,500×60	81,707,536	225,697	
2	成田国際空港	A:4,000×60 B:2,500×60 (→3,500×60) (C:3,500×45)	39,541,269	129,836	C滑走路が2029年3月末完成予定
3	関西国際空港	A:3,500×60 B:4,000×60	28,663,014	98,035	
4	福岡空港	A:2,800×60 (B:2,500×60)	23,035,578	88,855	B滑走路が2025年3月末供用開始予定
5	新千歳空港	A:3,000×60 B:3,000×60	22,814,950	77,396	
6	那覇空港	A:3,000×45 B:2,700×60	20,613,659	79,294	B滑走路が2020年3月26日供用開始
7	大阪国際空港(伊丹)	A:1,828×45 B:3,000×60	15,765,029	68,606	
8	中部国際空港	3,500×60	12,590,387	56,314	

海外見聞録 part6

澤田 治

(筆者は 2016 年 4 月～2018 年 3 月 Aguascalientes, Mexico 滞)

昨今、世界遺産巡りの TV 番組が再開され、日本各地の遺産巡りが流行してきました。Mexico でも各地のマヤ文明に関わる遺跡が紹介されています。筆者はユカタン半島沿いの ChichenItza、Tulum とメキシコシティー近郊の Teotihuacan を巡りました。チチェンイツアとティオティワカンには、エジプトのギザと肩を並べるようなピラミッドがあります。材料となる石の色は双方で異なりますが、どちらも威容を放っています。チチェンイツアの方は以前事故があったために登頂できませんが、ティオティワカンは階段が急な点さえ気を付ければ、月・太陽の両ピラミッドともに登頂可能です。ギザでは頂上に立つことはできませんが、ここでは頂上からの眺めを満喫することができます。また周りに緑も多くあり、気球ツアーに参加すればこの地区の立体的な美しさを感じることができます。

日本も同様ですが、遺跡にまつわる話になると、どうしても血なまぐさい生贄の話が出てきます。何故か若い女性が生贄にされるのは、男尊女卑の結果なのでしょう？どの国にも苦い歴史があります。

チチェンイツアは、Cancun 市内もしくは空港発着のほぼ 1 日のバスツアーになります。当地は、やはり米国カンクン州？なのか、半分はアメリカ人で残り半分がメキシコ人を含むスペイン語圏の方々（パルー、アルゼンチン、コロンビア他）でした。どこの国のツアーでも途中で土産物店巡りや屋食休憩などしますが、メキシコではレストランでビールやテキーラを口に入れたら、楽団やダンスの洗礼を受けることになります。

同じくユカタン半島の Tulum です。洞窟ダイブ (Cenote diving) をしてホテルに帰る途中に、ダイブツアーの車から遺跡の入り口で降りてもらって巡りました。10 数 m ほど眼下にはビーチが広がり、散策していても海からの風が心地よく頬を撫でていきました。ユカタン半島は、石灰岩質の地形が大部分なために、地下水がきれいにろ過されて不純物が少ない透明度の高い真水になります。その洞窟や井戸の内部でダイブすると、上からの光が金色の矢のように降り注ぎ、表現しがたい美しさです。現在も中学の理科教科書の見開きに写真が載っているはずですよ。

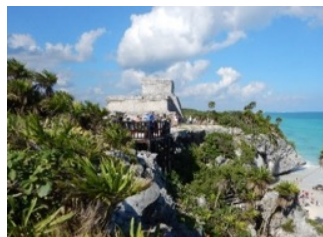
さて最後はティオティワカンです。ここはシティー中心部から地下鉄+路線バスでたどり着けますが、治安上バスツアーの方がお勧めです。建設当時、この地は大きな人口を抱えた一大都市だったようです。それがなぜ衰退したのかよくわかっていませんが。月のピラミッド・太陽のピラミッドの配置や中心部を貫くメインストリートの広さは現在の車社会でも通用するようにつくりになっています。

さて、雑学をひとつ。日本以外にも陶芸の盛んな国は多々ありますが、粘土の質も異なりますし釉薬も原料が違いますので、その国の文化を象徴した作品が出来上がるようです。Puebla という街でティーセットを購入しました。この街の陶芸品の色は主に何色だと思いませんか。

下に陶芸店の写真を載せましたが、イランなどのイスラム圏でもよく使われるコバルト系の青色が多かったようです。なんとなくメキシコの青空にマッチする感じがします。



ChichenItza



Tulum(PlayaDelCarmen)



月の Pyramid (Teotihuacan)



太陽の Pyramid



Cenote Diving (Tulum)



Puebla の陶芸店にて